

草の根協力支援型

2019 年度第 1 回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	東ティモール民主共和国
2. 事業名	パーツ大学における「住民ニーズに基づく保健実践」のための教育強化プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	<p>東ティモール政府は、保健医療等の基礎的なサービスデリバリーの改善を目指しているものの、疾病構造の転換が起きつつあると推察される中での確かな保健医療サービスを提供するためには、住民の保健情報が不可欠である。しかしながら、保健医療分野の人的リソースが不足しているため、特に地方部においては住民のニーズに応じた保健情報の収集が困難な状況にある。</p> <p>このような中で、同国唯一の公衆衛生学部を有し、保健分野に多くの人材を輩出するパーツ大学では、Project Based Learning（以下 PBL）と呼ばれる学生の地域実習に力を入れており、地域実習を通じた住民の保健情報データの収集解析と健康問題発見、それに基づくプログラムの実施・モニタリング・評価による人材育成を行なっている。</p> <p>本事業は、PBL によって保健医療分野の人材を育成するとともに同大学の教員の能力向上を図り、保健医療サービスの改善に資するものである。</p>
4. プロジェクト目標	パーツ大学公衆衛生学部が、学外実習を利用して、住民ニーズに基づく保健実践のための教育を実施する能力が高まる
5. 対象地域	ディリ市（パーツ大学）ならびに学外実習地
6. 本事業の対象となる人々（ターゲットグループ）	パーツ大学公衆衛生学部の教員（35 名）、および学生（1 学年 400 名）
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学内で、住民ニーズに基づく保健実践教育の実施体制が整う 2. 公衆衛生学部教員の指導力が向上する 3. 学外実習で住民ニーズに基づく保健実践教育が実施される <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1: 実習委員会を設立する 1-2: 実習委員会を開催する 1-3: 実習関連科目（準備科目、学外実習）の学生到達目標を作成する 1-4: 到達目標に沿って学生を評価する <ol style="list-style-type: none"> 2-1: 日本で実習指導方法についての研修を実施する 2-2: 実習関連科目の学生指導要領を作成する 2-3: 準備科目用の補助教材を整備する 2-4: 学生用の実習テキストを改訂する <ol style="list-style-type: none"> 3-1: 準備科目で、模擬事例を使ったシミュレーション授業を実施する 3-2: 地域住民代表者に対して実習説明会を開催する 3-3: 実習テキストを用いて、学外実習で学生を指導する 3-4: 大学で実習報告会を開催する 3-5: 学生が実施した健康プログラムの中から到達目標に達したものを選定する 3-6: 3-5 のプログラムをグッドプラクティスとして冊子化する
8. 実施期間	2020 年 9 月～2023 年 8 月（3 年 0 ヶ月）
9. 事業費概算額	9,999 千円
10. 事業の実施体制	カウンターパート団体で実習委員会を設立し、委員会メンバーを中心に活動を進める。提案団体はプロジェクトマネジャー・業務調整員・外部識者を年に 2-3 回派遣し、実習委員会時を中心に支援する。また、卒業生からリクルートした常勤の調整員を現地に配属し、連絡調整にあたる。
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	一般社団法人 Bridges in Public Health
2. 活動内容	国内外での地域保健活動に寄与する人材の育成と派遣 医療・保健・福祉・教育関連団体とのネットワーキング